

4月定例記者懇談会

令和8年4月27日(月)

11時00分～11時45分 203会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、中日新聞
事務局：唐澤、栗原、荻原、濱

町長月間予定（総務課）

○月間行事予定の説明

町の主なトピックス（担当課PR分）

○町民体育館リニューアル事業について（文化スポーツ課スポーツ振興係）

○箕輪町文化センター開館30周年記念事業【第1弾】について（文化スポーツ課生涯学習係）

○産後ケア事業の費用負担軽減拡充について（こども未来課子育て支援係）

○田んぼオーナー制度について（みどりの戦略課農業振興係）

○みのわテラスの取組状況について（みどりの戦略課未来農戦略係）

町長コメント

1 町民体育館リニューアル事業について (文化スポーツ課 スポーツ振興係)

○概要

別添資料 (p2) にて説明

- ・ 6月1日から一般開放。主なリニューアルポイントは、空調設備の整備、メインアリーナの拡張と2階に練習場の新設、町民体育館で町内の体育館やグラウンドの予約、鍵の受け渡した受け渡し、料金の収受等が一括して行える点。
- ・ 5月30日(土) リニューアルオープンイベント開催予定。
- ・ 5月23日に地域の住民の方向け、26日に報道機関向けの内覧会も開催予定。

(記者) 報道機関向けの内覧会は5月記者懇談会後に行う認識でよろしいでしょうか。

(担当) 記者懇談会終了後に開催予定です。

2 箕輪町文化センター開館 30周年記念事業 【第1弾】について (文化スポーツ課 生涯学習係)

○概要

別添資料 (p3-6) にて説明

3 産後ケア事業の費用負担軽減拡充について (こども未来課 子育て支援係)

○概要

別添資料 (p7) にて説明

- ・ 令和8年度から産後ケア費用の補助を10割(上限5万円)に拡充
- ・ 1回の出産につき7日分まで利用可能。利用期間は出産日から1年以内

(担当) 利用例は、母乳ケアとして子供が母乳をうまく飲めないなどの部分を助産師さんに一緒に見てもらったり、お子さんを預けてお母さんの休息に利用される場合があります。

(記者) 利用者が、令和5年から6年に大きく伸びているが、要因は国の制度が変わったことによる対象拡大という理解でよろしいでしょうか。また6年から7年も増えていますが、町の制度拡充による部分が大きいでしょうか。

(担当) 今までは医療機関において、保健指導が必要なものが産後ケアの条件でしたので、ほとんどが病院宿泊が多く、医療機関でケアが必要なお子さんが利用していましたが、6年

からは産後ケアを必要とするもの、ということで対象が広がり、全てのお母さんたちが必要だと思えば利用できることになったので、利用者が伸びた原因と思っています。

7年については、町の制度拡充ありますが、一般的にも産後ケアという概念が広がり、上伊那は医療機関との連携もかなり進んでいるので、病院から産後ケアを進めてもらえる割合も増えているところが要因だと思います。また、7年に関してはリピーターもとても多く、1回使ってみたらよかったということで、7回まで利用できるのも、複数回使う方が多くいらっしゃる点も要因の1つだと思います。

4 田んぼオーナー制度について（みどりの戦略課 農業振興係）

○概要

別添資料（p8）にて説明

- ・18組、約50名の応募があった。
- ・5月31日の田植えから始まり、3つの農業体験イベントに参加してもらう。

5 みのわテラスの取組状況について（みどりの戦略課未来農戦略係）

○概要

別添資料（p9-10）にて説明

- ・資料に基づき、みのわテラス道の駅関連事業の説明

（町長）道の駅についてはこれまでもいろいろな準備を進めてきましたが、いよいよ事業が本格化をするというところでもあります。特に加工場の増改築につきましては、テラスの運営をしながらになりますので、安全に注意をしながら利用者の皆さんに迷惑をかけないようにと思っています。

また、屋内遊戯施設についても、地域のママさんたちからもお話をいただきながら、具体的な内容についてこれから設計をしたいと思っています。場所については、いろいろな議論がありますが、今まで使っていなかった場所を借用することが可能になり、地続きということもありまして予定箇所として選定をしています。北側駐車場という意見もあったわけですが、今のところこのような考えでありまして、設計の段階でまだ若干変わるかもしれませんが、ご理解をいただきたいと思っています。

（記者）借用予定の場所はもともと何がある場所ですか。

(担当) 花のハウスが2棟あり移転予定でして、2つあったうちの1つが今移転した状態です。現状はハウスがまだ1つ残っている状態です。

○町長コメント

①4月25日に行われました市町村対抗駅伝であります。当町の春のメインイベントの1つですが、おかげさまで町の部で10連覇することができました。

私達とすれば何とか目標のメダルにと思っておりましたが、残念ながら届きませんでしたけれども一般の部でも5位に入ることができて、町の部も10連覇ということですので、頑張ってくれたなと思っています。

箕輪チームですが、中学生と一般社会人で構成しているチームです。通常はチームに高校生が入った構成になるかと思えます。今回も佐久長聖や上田西高校の選手が入ったチームが上位に入っていますけれども、当町は地域の企業で働きながら走っている皆さんで構成をしているという他にあまりないチームでした。そういう意味では皆さんの頑張りに今後も期待をしたいと思っています。実は高校生を入れて、上位を狙っていたのですが、怪我等があって参加できなかったということもありましたが、逆に町の駅伝に関わる皆さんの広がりも期待しています。

また、部活動の地域展開の中で、陸上部も最初から組み込まれていますので、町の代表選手たちだと思っています。

②4月18日に西県道の花もものおもてなしイベントをさせていただきました。

西部地区の代表的な観光になっております信州みのわ花街道でありますけれども、花街道をつくる会の皆さんの高齢化等もあり、なかなか維持ができなくなってきました。6kmで1,300~400本が植栽されていますが、道路沿いに植栽されているため、伐採や剪定ができなかったり、斜面のため草刈りができなかったりというなかで、町に協力をお願いしたいという話をいただいております。議会等でも議論がされてきたところでもありますけれども、私どもとすれば、町が全てそれを請け負うということはできませんということを申し上げてまいりました。

しかし、今の状況を考えますと、地元の皆さんが地域の活性化のために作り上げていたあの街道を全てなくしてしまうというわけにはいかないということもあります。これから町観光協会と話をさせていただいて、また、地元の皆さんとも協議をさせていただくこととなりますけれども、全てを残していくということにはできないと思っています。しかしながら、今回おもてなしイベントを行い、下古田の展望台や上古田から帯無川の道路沿いがありますとか、一の宮の道路沿い等については、非常に風景として立派なものがありますので、維持をしていきたいと思っています。

道路への支障が非常に大きい大出山口や富田地区については、それぞれの花ももの樹木をみてもらう必要はありますが、早期に伐採をしていきたいと思っています。その経費を町が全て出すというわけにもいかないと思えますし、町事業として実施するつもりはありませんが、観光協会と話し合いをさせていただきながら、観光協会としてこれから維持をしていくという意思決定が

できればということで、観光協会の定期総会で話していきたいなと思っております。

そういったことで、信州みのわ花街道については、今までと同様なことはできませんけれども、皆さんが楽しんでもらう春の1つのイベントでありますので、楽しんでもらえるような形は作っていきたいと思っています。

③この秋から冬にかけて雨や雪が少なかったことに伴い、箕輪ダム貯水率が非常に低くなっていました。一時期75%まで貯水率が落ちていたものが、このところの雨で100%近くまで回復できています。

先週から伊那建設事務所をお願いをして、ダムからの放流をしてもらっています。水が農地まで来ないという状況のなか、東箕輪地区の大堰の流量を回復させなければならないことや、頭首工より下に水が全く流れないという現状でしたが、おかげさまで雨も降ったりしたので、今週あたりから始まる田んぼの代かきの時期に何とか対応できるのではないかと考えております。地域の皆さんが心配していた水不足についてはほぼ解消できるのではないかと思います。

④リチウムイオン電池の関係ですが、今年から資源ゴミの回収に合わせてリチウムイオン電池の回収を始めましたが、その初日に下古田公民館のゴミステーションでモバイルバッテリーが燃えてしまったということがございました。

資源ゴミの回収ですので、地域で監視している皆さんがいらっしゃいましたが、その時に思えなくてよかったと思います。収集後、回収業者が回収にくる段階で燃えてしまったところが発見されたということで、爆発まではいかなかったのですが、かなり飛び散ったということもあり、こういった危険物の回収をどうしたらいいのかというのは、非常に課題だというふうに私自身は思っています。

元々危険物とされているものを住民の皆さんに回収をしてもらうことはどうなのかという気はしていますが、全て町の役場に持ってきてくださいというわけにもいかないのです。この方法しかないのかなとも思っていますが、回収箱をより警固なものにするということはもちろんであります。そういったことができた段階で、改めて回収を始めたいと思っています。

広域全体で行っている事業でありますので、その点については、また広域連合にも話をさせていただいて、危険のないように、住民の皆さんの協力を仰いでいきたいと思っております。

(記者) 現在役場で回収していると思いますが安全性は大丈夫でしょうか。

(町長) 回収箱がありまして、外に漏れることがないようにしてあります。熱を帯びたりしているものがあれば、別の場所で保管をさせていただいています。また、こういった形で回収するのが良いかも検討をしています。

⑤広域連合長であります伊那市長の選挙結果ができました。4期16年ということで上伊那のリーダーとして尽力していただき本当にありがたかったと思っています。

伊那市行政のことで私が申し上げることではないですが、広域連合という立場で申し上げますと、何と言っても、消防の広域化をしていただいたり、上伊那クリーンセンターも10年20年も

かかったわけですが建設ができたり、箕輪町においては、中央行政組合の一員として、伊那中央病院でありますとか、し尿処理施設の運営を一緒にさせていただきました。

もう1つは、定住自立圏（伊那市、南箕輪村、箕輪町）を組んでおりますけれども、そういった中で、交通に関わる取り組み等を一緒にさせていただきました。大変強いリーダーシップを発揮して上伊那をリードしてくれた市長でありましたので、本当にご苦労様と申し上げたいというふうに思います。

これから吉田市長さんになられまして、吉田さんは行政経験も長いですし、議会議員でもございましたので、市民の声を聞いてきた市長さんだと思っています。箕輪町としては中心市としての役割を引き続き期待をさせていただきたいと思っています。

（記者）伊那市長選の話が出ましたが、町長自身も最終年度ということで、11月に選挙を控えているというところで今現在のご意向があればお聞かせいただきたい。もし、決まっていなければどれぐらい目途で公表したいかお聞かせいただければと思います。

（町長）今のところコメントできることはございません。

新年度予算の編成をして、予算執行方針を示しました。かつ、年度初めのミーティングも全て終わりました、本年度動き出しましたので、今年度について、私としての役割は一定程度果たしていると思っています。

そんなこともありますので、6月議会が基本的には目途だというふうに思っていますが、そのあたりまでに基本的な考え方を示していけたらと思っています。現時点では今年度事業が始まりますので、何とか軌道に乗せることを第1としていきたいと思っています。

こういう機会でありますので、3期12年を振り返ってみて、私自身としての成果、事業に対する達成感とか、そういったことを考えてみたいなと思っています。世の中の状況を見ますと、いろいろな個性のある方、首長も議員もそうだと思いますが、そういった個性のある方がこういった職につく必要があるというのは前から申し上げていますが、最近特によく感じています。

（記者）以前の話だと全くの白紙という話だったと思いますが、考えまとめられて6月に目途に徐々に公表という感じですか。

（町長）6月議会があるのでそこでの公表を想定せざるを得ないなというふうに思っていますが、広域的な仕事が変わる可能性もあるので、もう少し全体を見ていかなければとも思っていますし、町だけのことではない部分も若干あったりしてその整理していかなければいけないなと思っています。